



3・20 緊急セミナー

放射能汚染された関東のゴミはどこへ

——いま、安心・安全の産地が失われる？

東日本大震災、そして東京電力福島第一原発事故から5年。

いま、収束のめどがつかないまま溜まり続ける「放射能のゴミ」が、全国で埋め立てられようとしています。

長野県の南部・宮田村に、こうした放射性物質を含む廃棄物を埋め立てることを前提とした産業廃棄物最終処分場の建設が計画されています。

「拡散政策」とも言える国の方針により、もし、新たな放射能汚染が広がれば、安心・安全な食品は、どこで生産すればよいのでしょうか。

問題を知り、行動するための緊急セミナーにぜひ、ご参加ください。

とき 2016年3月20日（日）18:30～20:30（18:00開場）

ところ 株式会社シータス&ゼネラルプレス本社10階（東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」徒歩7分）
東京都文京区小日向4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷

参加費 500円 / 定員 50名

■ プログラム

1. 「放射能汚染された廃棄物が関東から伊那谷へ？：宮田村が直面している問題の解説」

講師：茅野 恒秀氏（信州大学准教授、原子力市民委員会核廃棄物部会委員）

2. 「子供たちのために美しい宮田村と天竜川を守りたい！（仮）」

話し手：田中 一男氏（宮田の環境を守る会会長）

お申し込みはこちらから> <http://www.foejapan.org/energy/evt/160320.html>

主催 国際環境 NGO FoE Japan

共催 駒ヶ根の環境を守る会、伊那谷の環境を守る住民ネットワーク・中川村、宮田の環境を守る会、
放射能を含む廃棄物から子供たちと大久保の自然を守る住民の会

協力 原子力市民委員会、駒ヶ根 水と命を守る会

お問い合わせ：国際環境 NGO FoE Japan （担当：柳井）

住所：〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-21-9 Email: info@foejapan.org

TEL: 03-6909-5983 / FAX: 03-6909-5986 / HP: <http://www.foejapan.org>

会場にて、
伊那谷のおいしい
りんごジュース等
販売予定です！